昭島の「学びの回游」 つなぐ・広がる・見つける・音む 郷土資料室 活動の拠点 学びの回遊 既存体育館 既存校舎

図書館

学びの回遊と拠点

基本的な考え方

様々な施設を一つの小学校の敷地の中に複合し、有機的につ なげます。

お互いの活動を触発することで、昭島ならではの活動や交流 を発信できる新たな「学び舎」をつくります。

この学び舎は、校庭に位置する「知の拠点=図書館」を核と して、「文化の拠点=郷土資料室」、「学びの拠点=既存校舎」 「活動の拠点=既存体育館」などを連携させ、新たな交流を 生みだします。

この交流は、市民を育み、新たな出会いを見つけ、昭島の未 来をつなぎ、広がる「学びの回遊」となります。

さらに、教育施設と児童福祉施設を集約することで、教育と 福祉が一体となった継続的な支援が可能となり、同様の立場 にある市民が集う機会を創出し新たな交流を生みだします。

広域の回游



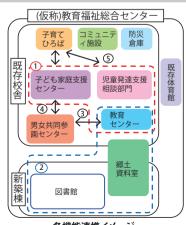
昭島市のつながりの拠点となる施設

昭島市北部には玉川上水や昭和の森など自然豊かな環境、南 部には多摩川に沿った豊かな土地を活かした農地と住宅地が 広がる地勢を有しています。その中心部に位置する本施設は、 利便性の高い立地で、(仮称)教育福祉総合センターの方針で ある「つなぐ・広がる・見つける・育む」活動をより効果的 に行うことが、可能になります。

より多くの市民に対して課題解決に向けた多様な情報やサー ビスを提供するために、市内の図書館ネットワークや近隣の KOTOR | ホール (昭島市民会館)・公民館との連携を促進 させ、複合施設ならではの相乗効果を発揮し、市内の様々な 地域資源・情報コンテンツをつなぐ「文化の回游」の拠点をつ くります。

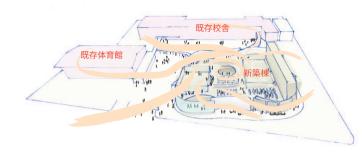
各部門の連携による新たに生まれる学び・支援の共有

- ① 各課の相談窓口を一本化することで教育と福祉が一体となった継続的な 支援が可能になります。
- ② 図書館、教育センター、郷土資料室の連携により、書籍と実物を同時に活 用した教育の場を創出することが可能になります。
- ③ 教育ヤンターと、男女共同参画ヤンターの連携により、同様の立場にある 親が集う機会を提供することが可能になります。
- ④ 子ども家庭支援センターと、男女共同参画センターの連携により、子育て に悩みを持つ親が集い、話し合いなどを行う場を紹介することが可能に なります。
- ⑤ 子育てひろばを通して、子どもや保護者へのくつろぎや交流の空間を提 供しながら児童発達支援相談部門・子ども家庭支援センターへの連携を 図ります。



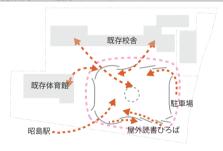
各機能連携イメージ

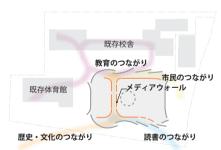
交流の渦

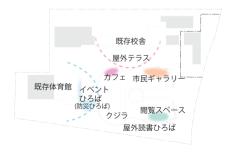


本計画の「校庭」があった場所に建 つ新築棟は、「校庭」で生まれた「に ぎわいや交流の記憶」を継承し、施 設の核、地域の学びの拠点となり、 既存校舎・体育館の活動を巻き込ん で、交流の渦を巻き起こします。

施設同士の連携について







各棟との連携を促す、四周正面となる施設

「校庭」の特性を踏襲し、裏のない四周正面となるような施 設を計画することで、隣接する建物同十との関係性を高め、 多様な連携が可能になります。人の流れを連続させた壁に、 隙間を設けることで、人々を(仮称)教育福祉総合センター に誘い、交差する動線が新たな交流をつくります。

新たな出会いを生み出す「つながり」

本敷地内は既存校舎や昭島駅からの動線を中心に、「つなが り」を設計します。

各施設を往来できる庇と渡り廊下のネットワークを巡らせ ることで、施設間の行き来を容易にさせます。施設毎の特 性を持った「つながり」は新たな出会いを促します。

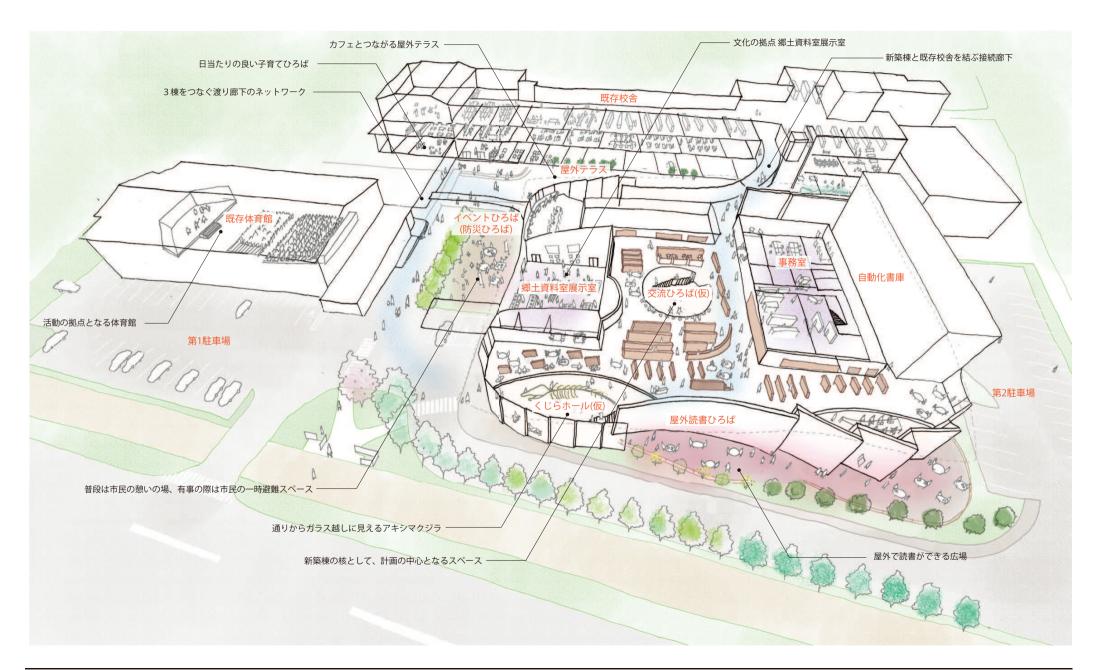
教育のつながりは、各棟との連携を高め、図書や郷土資料 が新たな「学び」を生み出します。市民のつながりは、市 民ギャラリーが市民の発表の場となり市民同士の交流を生 み出します。読書のつながりは、屋内外の読書体験を提供 します。歴史・文化のつながりは、アキシマクジラから企 画展示スペースまで、昭島の歴史・文化について知識を提 供することで、昭島との出会いを生み出します。

交流の「ひろば」をつくる

既存施設の外壁と並行に壁を設けるのではなく、各所にふ くらみを設けた外壁は、室内外に「ひろば」を生みだします。 室内と屋外の「ひろば」を一続きに配置することで、敷地 内の各所で連携と交流の輪が生まれます。

屋外テラスでは、既存校舎及びカフェ、市民ギャラリーと 連携したイベントが可能になります。イベントひろば(防 災ひろば)は、普段は利用者の憩いのひろばになり、隣接 した郷土資料室との連携も可能です。有事の際は市民の一 時避難スペースになります。

新築棟を施設の核・地域の学びの拠点とし、既存校舎・既存体育館の活動を巻き込んで交流の渦を巻き起こします。



市民ワークショップ

本施設に関心を持つ市民の皆様の「牛の声」を設計に反映させる為に市民参加ワークショップを3回開催しました。

第1回 開催日時:平成27年12月20日13時~16時 場所:あいぽっく 講習室

第2回 開催日時:平成28年1月9日13時~15時30分 場所:市立つつじが丘南小学校

第3回 開催日時:平成28年1月23日13時~15時30分場所:市役所市民ホール

ワークショップでは市民に興味のある分野毎にグループ分けを行い各グループで進行を行いました。以下、各グルー プの意見まとめ、主な意見です。既に、本計画に取り入れた意見を赤で示しました。

A グループ

子育て支援・男女共同グループ

みんながあふれ、活動しあえる交流広場

市民に開かれた施設 誰でも使いやすい施設 運営 男女平等 多目的室 防災について 男女共同参画センター 活動に対応した機能を 上下足について のハード面・ソフト面 運営委員会について 子ども 共用部・ハード イベント 不登校の子ども エレベーターについて 様々なイベントを開催を

駐車場について

トイレについて

各グループ主要意見

- ・男女平等参画室はパソコンコーナー、資料コーナー、
- カーペットスペース、おもちゃ置場、ホワイトボード(展示用)が必要
- ・エレベーターは故障等を考えると必ず複数基必要
- トイレは洋式におねがいします
- ・十足使用を基本にしてほしい
- ・調理が出来る設備がほしい
- 多目的室は親しみ易い名前をつけてほしいです
- ・イベント場所はオープンに、使用方法の検討
- 一階子育てひろばを南向きの部屋に変更して下さい
- ・多目的室は、調理・工作・楽器練習等、多目的に使えるようにしたい
- ・不登校の子どもが体育館を利用できるようにしてほしい

Bグループ

様々な配慮の 必要性

図書館グループ みんながワクワクする施設



みんなの居場所をつくる

新築棟

自由度の大きな施設 誰でも来たくなる学び舎 わくわく読書探検空間

カフェについての音見

閲覧スペースについて

たくさんの人々に施設に来てもらい昭島の郷土・文化・自然を知ってもらう

体験できる

みんなに親しみ

やすい工夫を

展示を

配架に関する意見

- 予約本の24h貸出対応
- ・資料をゆっくり読めるスペース(いす等)を多く
- ・書架の配架テーマ毎の充実(例:平和・ヤングアダルト)
- 第2駐車場の入口は、南側又は北側に移す
- 車椅子駐車場を屋根付きにする
- ・既存校舎と新築建物の間のスペース広く取りたい
- ・イベントスペースはお話会やワークショップを定例的に開催する
- ・カフェを夜は Bar として使いたい
- ・理科室は調理室として 明るく使い易く
- ・シアターにオープンビューイング(スポーツ観戦)が出来るように
- 既存の他施設との共存ができるように
- ・幅広い年齢の市民が集える場にしたい
- ・校舎の色は新しく塗り替え、修理を完全にしてほしい
- ・エレベーターはそれぞれの入口付近に、最低二基は設置

屋外スペース

ーについて

フェンスについて

屋外イベントについて

文化水準を高める

の意見

の意見

の意見

バリアフリ

- ・カフェを内向きにし、本棚が見渡せた方が図書館のカフェらしい。
- 本のテーマ展示や人が来る様子が見えたり
- ・旧校舎についても土足で入れるようにして、必要な部屋だけ靴を脱ぐ
- 案内表示は分りやすく
- ヤングアダルト、外国、ベストセラーのスペースを充実させる
- ノ・外国の人の為にも多言語の本をそろえてほしい
- ・バリアフリーの配慮 出入口使用し易さ
- 面・フェンスを撤去
- 季節のイベントを開催してほしい(クリスマスツリー等)

Dグループ

伝わりやすい展示

積極的に多摩川に

昭島の郷土文化に

関する意見

まつわる展示を

Cグループ

意見

上下足に

ついての

既存校舎

多目的室に エレベーター

音貝

についての

室内表示

についての

郷土資料室グループ

の意見

図書館グループ

水と緑のまち~多摩川がつくりだしたまち~

使いやすく・親しみやすい施設 適切な保存・管理

- 玉川上水に関する展示
 - ・湧水に関する展示
 - 民具やはたおりに関する展示
 - 自然、博物史に関する展示
 - 体験コーナーの設置
 - 屋外体験エリアの設置くるり棒や脱穀とか
 - 発掘体験できるエリアの設置
 - 気軽に利用できる
 - 身障者用、車椅子用駐車場の台数の確保
 - ・学芸員をつける、育てる
 - 収蔵庫は日光遮断方法を検討

子どもワークショップ

開催日時:平成28年1月26日10時35分~11時20分 場所:市立つつじが斤南小学校(第二音楽室)

対象:つつじが丘南小学校5年生

班毎に話し合いをして、「つつじが丘南小学校マップ」を作成してもらい ました。

質問:

- ・小学校で1番好きなところ(思い出や理由も)
- どんな図書館だったら行きたいと思いますか?
- どんなイベントだったら参加してみたいと思いますか? 主要意見:
- ・つつじが丘南小学校の校歌と校章(マーク)を残したい
- 外の池を残したい
- ・南小の給食をカフェのメニューに含めてほしい
- ゲーム大会を開いてほしい
- ・カフェをバイキングにしたい
- 教室のイス・机・黒板・プレートを残してほしい
- 桜の木を残してほしい
- 学校の校歌を残してほしい



「つつじが丘南小学校マップ」



ワークショップ風景

市民説明会

市民説明会第1回 開催日:平成28年3月26日 場所:市役所市民ホール

市民説明会第2回 開催日:平成28年4月12日 場所:旧つつじが丘南小学校 体育館

主要意見:

- ・子育てや交流が大事なのは理解するが、高齢者への配慮はどのように考えているか。
- ・高齢者世代がボランティア等で子どもたちと交流できるような機能があればいいと考える
- 多目的トイレは各フロアに設置をお願いしたい。

意見に対して、以下のように整理します。

本計画では、高齢者福祉に特化した施設は含みませんが、現在も高齢者世代の図書館の利用が多いので、施策等 を検討します。

パブリックコメント

パブリックコメント募集期間:平成28年4月1日~5月2日

主要意見:

- ・既存音楽室の平日昼間の一般への開放を。
- 新築棟について、表示の工夫を重点にお願いしたい。
- ・既存校舎図書室の形を活かし、不登校の子ども達のための居場所として使用できるようにしてください。

意見に対して、以下のように整理します。

既存校舎にも一般開放を検討している部屋もあり、様々な施設が複合されている本計画では、意見にもありまし たように、あらゆる世代の来館が予想されるので、今後、運営面の検討と施設内のユニバーサルデザインについ て詳細に検討を行い、利用者にやさしい施設計画とします。

その他、多数、体育館についての意見がありましたので、以下に示します。

体育館についての主要意見:

- ・昭島市には、響の良い高低差の有る客席の小ホールがありません。既存体育館を質の良い小ホールにしていた だきたいと思います。
- ・地域の子ども達がバスケットが出来るように、市内で使える体育館を残してほしいです。

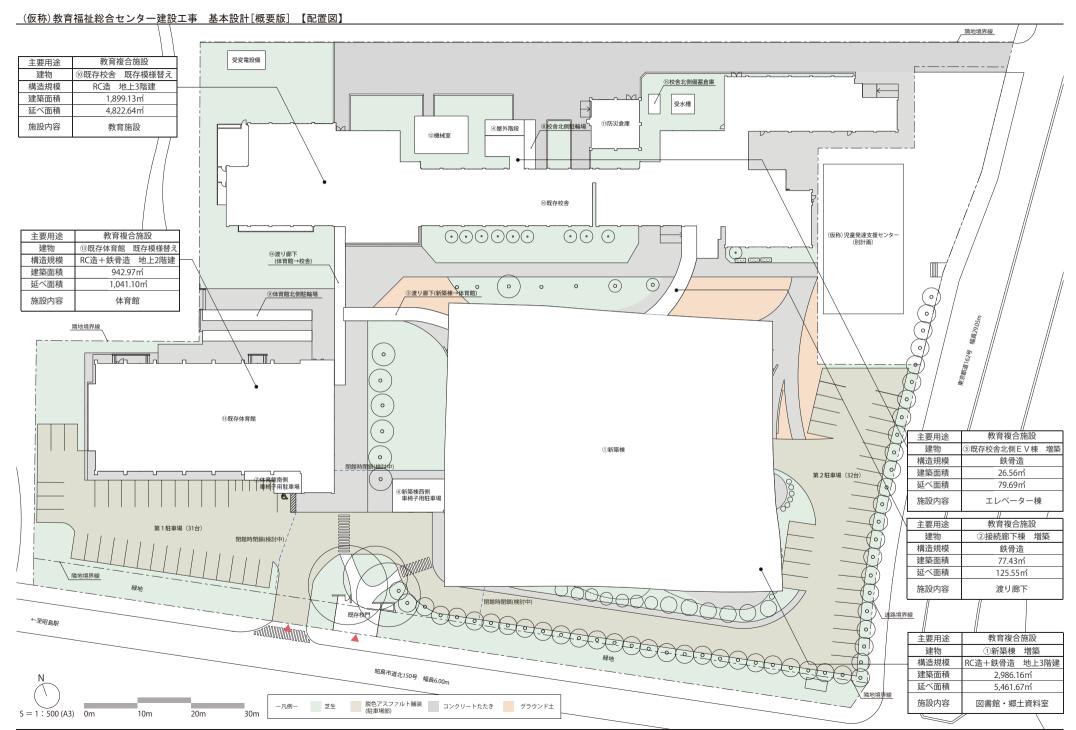
意見に対して、体育館について以下のように整理します。

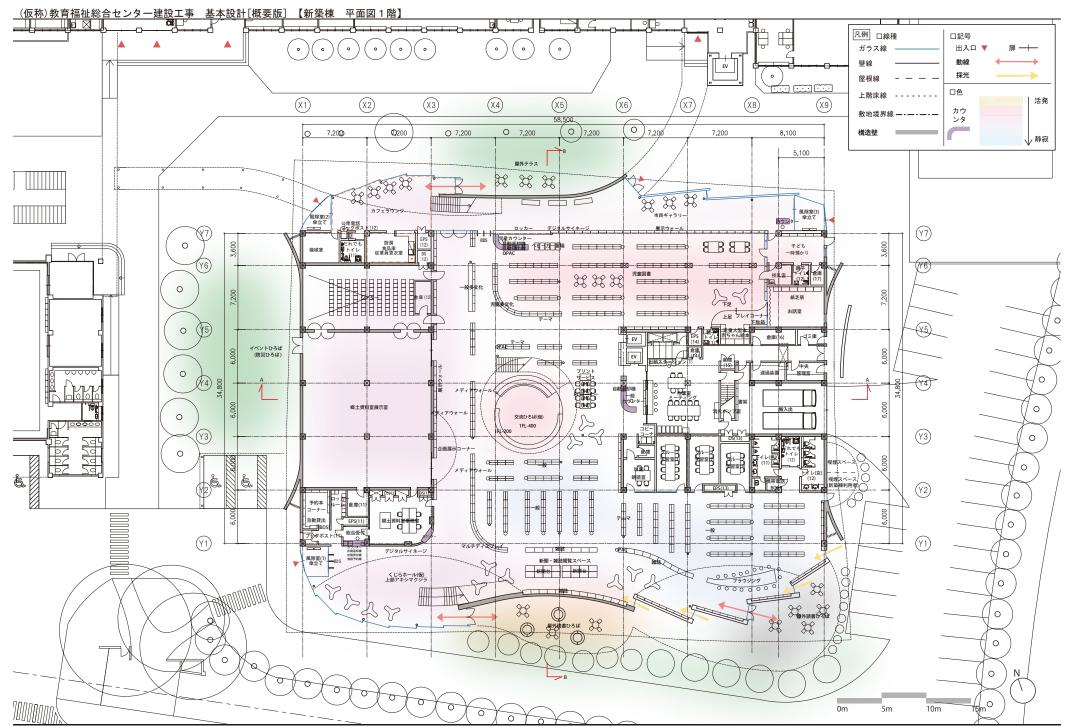
|既存の体育館は、教育センターに通う児童生徒の軽運動や発表、また研修会など多彩に利用できるよう改修しま す。体育館としての利用を想定しており、小ホールとはなりませんが、音響設備、高低差のある可動式客席、冷 暖房設備等を設置する予定です。空き時間には、市民の活動の場としても活用できるよう検討しています。

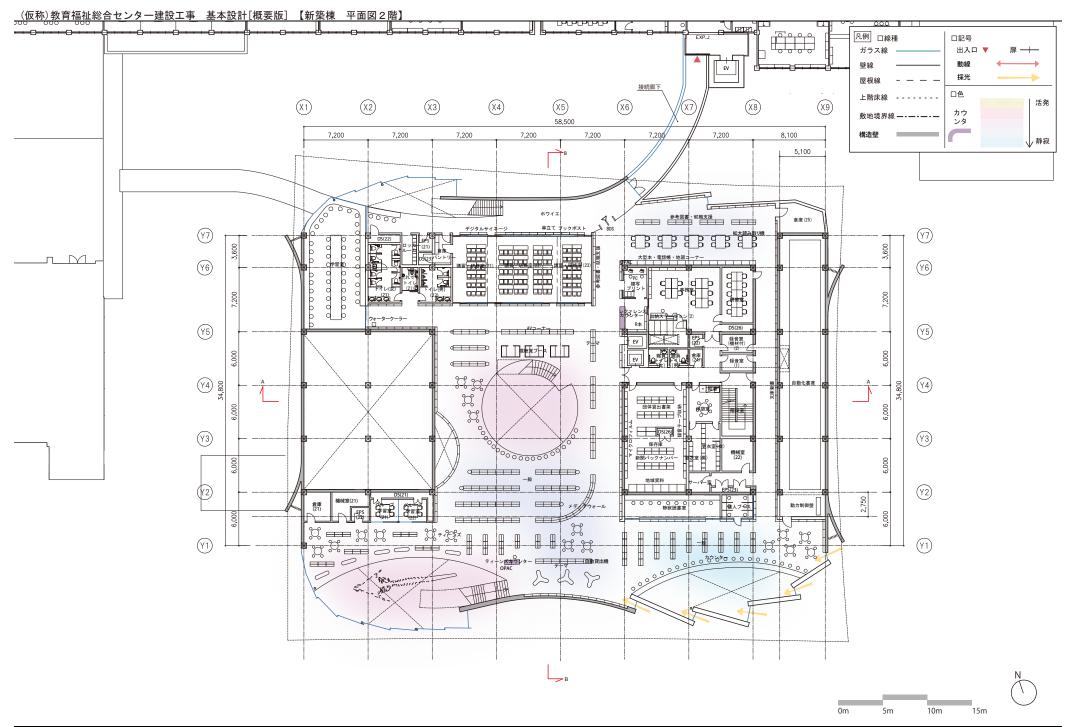


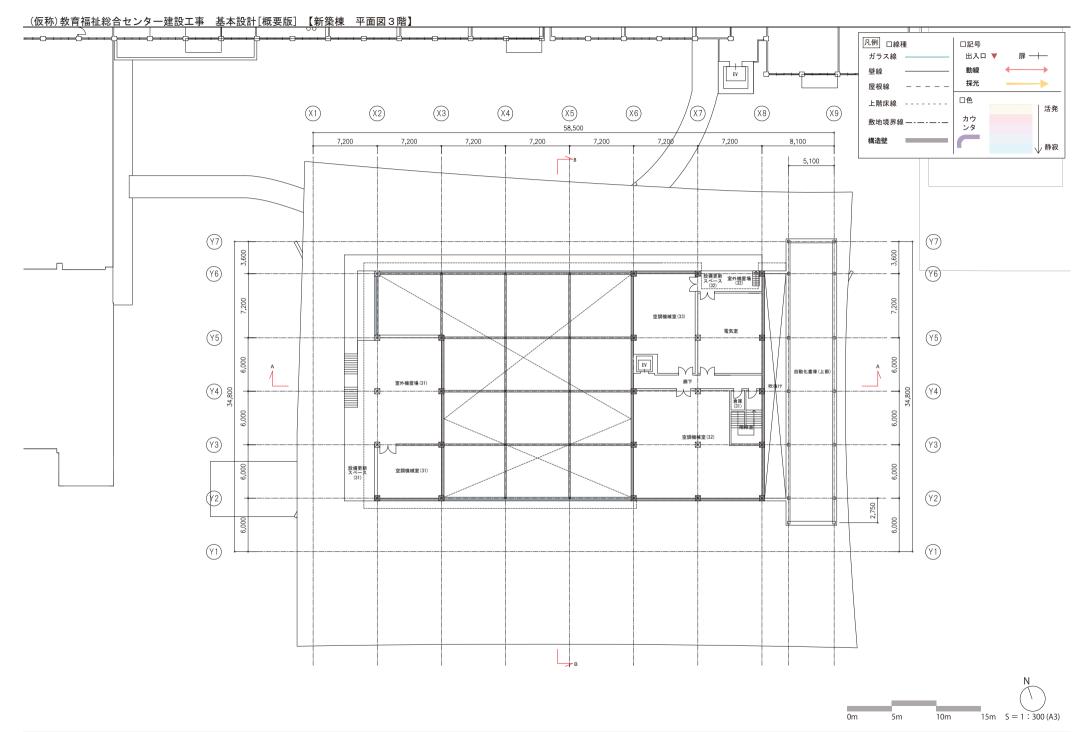


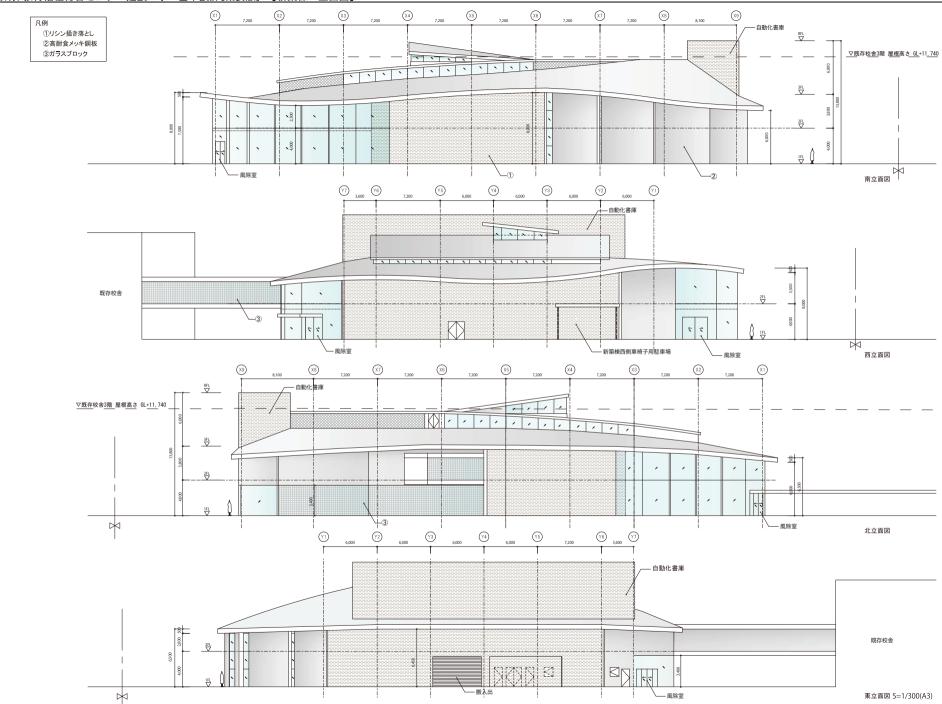










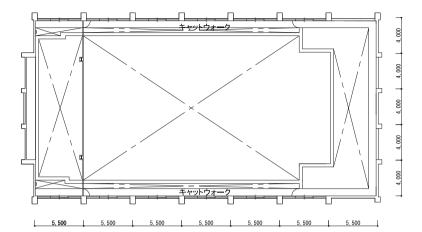




4.000 4.000

10m//15m S = // : 500 (A3)

/5m



Dビ_{±R≪} 【1階】 だれでもトイレ 機械スペース 5,500 5,500 5,500 5,500 5,500 5,500 6,000

【2階】

15m S = 1:300 (A3)